

比謝川行政事務組合 第2次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）
実施状況（2024年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

比謝川行政事務組合の事務・事業により排出された2024年度（令和6年）の温室効果ガス排出量は、10,706 t-CO₂で、基準年度2017年度（平成29年）に比べ△504t-CO₂排出量は減少しました。

減少した要因は、表2に示す一般廃棄物処理施設からの排出量の減少で、総排出量の73.08%を占めるごみの焼却によるものとなっており、総焼却量の減少やもやせるごみに含まれるビニールやゴム、合成樹脂などのプラスチック系ごみの減少によるものです。

表1 基準年度との比較

区分	排出量（単位 t-CO ₂ ）		削減量（削減率）
	基準年度（2017年度）	2024年度	
温室効果ガス	11,210	10,706	△504（△4.4%）

2 比謝川行政事務組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表2 2024年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO ₂ ）		
		基準年度 2017年度	2024年度	比較
1	一般廃棄物処理施設	10,518	10,081	△437
2	一般廃棄物最終処分場	100	105	5
3	ニライ消防本部	591	519	△72
4	事務局	1	1	0
	合計	11,210	10,706	△504

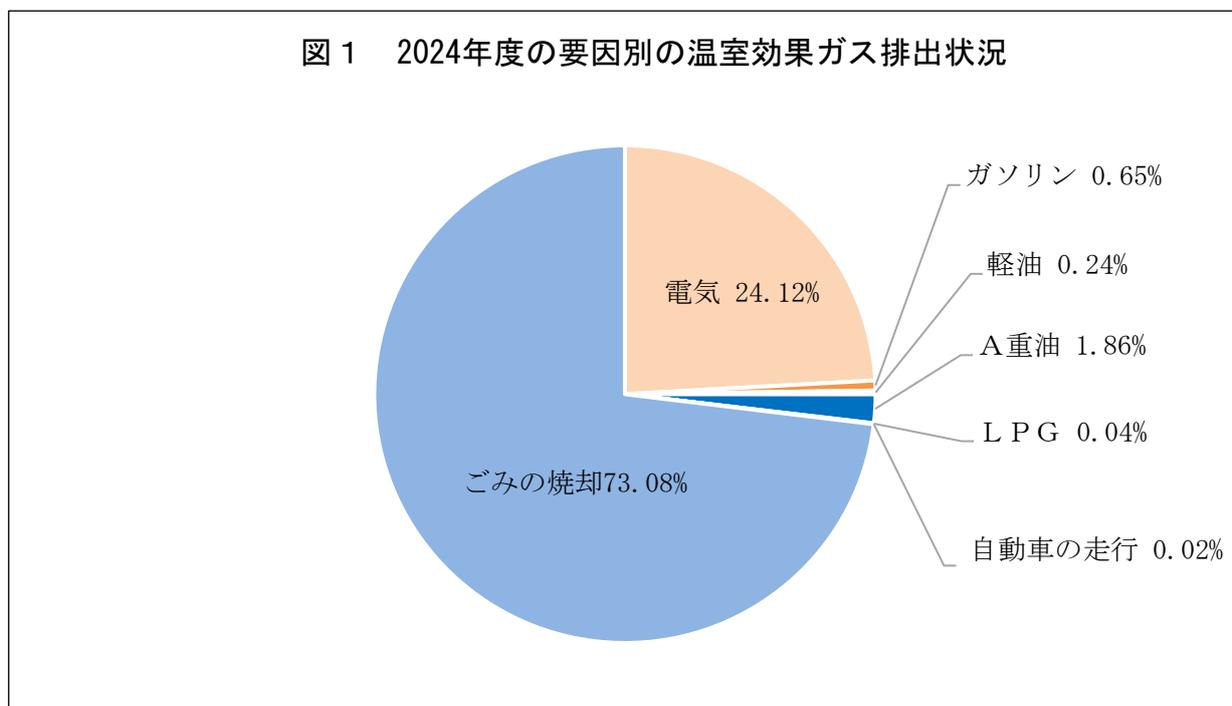
3 要因別の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の73.08%を占め、次いで電力使用によるものが24.12%となっています。

表3 2024年度要因別の温室効果ガス排出状況

	電力	ガソリン	軽油	A重油	LPG	自動車の走行	ごみの焼却	
使用量	3,219.784	29,800	10,070	73,372	664.4	185,411	14,691 総焼却量	2,734 プラスチック
	kWh	L	L	L	m ³	Km	T	T
排出係数	0.000638	0.00232	0.00258	0.00271	0.00655	※	0.000077	2.765
							0.0000539	
	t-CO ₂ /kWh	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /m ³	t-CH ₄ /km t-N ₂ O/km	t-CH ₄ /t t-N ₂ O/t	t-CO ₂ /t
温室効果 ガス排出量 (t-CO ₂)	2,582	69	26	199	4	1.85	264.2	7,560
割合 (%)	24.12	0.65	0.24	1.86	0.04	0.02	73.08	

図1 2024年度の要因別の温室効果ガス排出状況



4 基準年度（2017年度）からの温室効果ガス排出状況の推移

基準年度と比較して△4.4%減少、2023年度比較では△7.8%温室効果ガス排出量は減少した。

表4 温室効果ガス排出量の推移

区分	排出量（単位 t-CO2）					
	基準年度 2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス	11,210	11,432	9,958	11,940	11,619	10,706
基準年度比較(%)	-	1.9	△11.2	6.5	3.6	△4.4
前年度比較(%)	-	△8.6	△12.9	19.9	△2.6	△7.8

表5 施設毎の温室効果ガス排出量の推移

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO2）					
		基準年度 2017年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
1	一般廃棄物 処理施設	10,518	10,779	9,337	11,319	11,005	10,081
2	一般廃棄物 最終処分場	100	100	97	106	97	105
3	ニライ消防 本部	591	552	523	514	516	519
4	事務局	1	1	1	1	1	1
	合計	11,210	10,923	9,958	11,940	11,619	10,706

